2026 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名　　オイシックス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　髙島　宏平
（コード：3182、東証プライム）
問合せ先　　執行役員 CFO　中川　徹哉
（TEL．03－6867－1149）

業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社グループの事業は順調に推移しており、営業利益は当初予想通り前期比 18.5%増と大幅な増益を見込んでおります。これに加え、当初予想で見積もっていた法人税等の負担率について上期実績を考慮した結果、親会社株主に帰属する当期純利益及び 1 株当たり当期純利益は前期比 30%増と、当初予想を上回る増益となる見通しとなり、2026 年 8 月 3 日に公表いたしました業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．業績予想数値の修正

（1）2027 年 3 月期　通期業績予想数値（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	EBITDA	営業利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	252,000	13,400	8,700	5,210	150.00 円
今回発表予想（B）	252,000	13,400	8,700	5,920	170.00 円
増減額（B－A）	0	0	0	710	－
増減率（%）	－	－	－	13.6	－
（参考）前期実績	251,419	12,914	7,339	4,527	130.34 円

（2）修正の理由

2026 年 9 月 1 日付の子会社の吸収合併をもちまして、一連の組織再編が完了し、グループ全体の法人税等の負担が構造的に軽減される見通しとなりました。これにより、当期の法人税等の負担率は 30%台半ばまで低下する見通しであり、中長期的にも一般的な水準である 30%台半ばへの適正化を段階的に進めてまいります。

2027 年 3 月期の業績につきましては、経営資源をコア事業に集中させる目的で 2025 年 10 月に実施した車両その他事業の売却に伴う影響があるものの、B2B サブスク事業（給食事業）の成長により、営業利益は前期比 18.5%増となる見込みで順調に推移しています。この B2B サブスク事業の成長に加え、今般の税負担の適正化を踏まえ、親会社株主に帰属する当期純利益及び 1 株当たり当期純利益（EPS）が当初の想定を上回る見通しとなったため、通期業績予想を上方修正いたします。なお、修正後の EPS（170.0 円）は過去最高益を更新し、2030 年中長期目標（175.0 円）に迫る水準となります。目標年度の前倒し達成に向け、B2B サブスク事業における成長戦略を一層加速させてまいります。

今後も、B2B サブスク事業を中心とした事業成長による EPS の拡大、並びに積極的な株主還元を通じて、さらなる企業価値の向上と株主利益の最大化の両立を追求する方針です。

２．配当予想の修正

（1）2027 年 3 月期　配当予想数値

	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回発表予想	0 円 00 銭	30 円 00 銭	30 円 00 銭
今回修正予想	0 円 00 銭	34 円 00 銭	34 円 00 銭
当期実績 （2027 年 3 月期）	0 円 00 銭	–	–
前期実績 （2026 年 3 月期）	8 円 00 銭	12 円 00 銭	20 円 00 銭

（2）修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けており、将来の成長に向けた投資資金の確保や財務の健全性を維持しつつ、配当性向は 20%を目安に株主還元の充実を図ることを基本方針としております。

今般、1 株当たり当期純利益の業績予想を上方修正したことに伴い、配当性向 20%を目安とする方針に基づき、期末配当予想を 1 株当たり 30 円から 34 円に修正いたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当額は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。